

入札制度

競争性を縮小させるな

町長／ダンピング防止が目的



平田 昇議員

平田 法の原則は一般競争入札なのに、町は指名競争入札で落札者は未受注者への配慮で入札を制限している。時勢への逆行ではないか。

町長 指名競争入札で町内建設業地域の振興にも配慮しています。

公共事業発注件数の減少に伴い、ダンピングに近い受注、そして丸投げが散見されるので、それを防止し、かつ公平な指名業者の選定を行う必要があります。

激特事業への入札参加は

町長／今後も工事増を願う出る

平田 町域内の激特事業関係工事には多くの町内業者の参加が切望されている。その準備、対応はどう進められているのか。

町長 町としては、町内経済の浮揚も考慮し町内の企業に工事受注の機会を多くして頂きたいと申し入れてきました。これをふまえて、九州地方整備局が試行に踏み切られたのだと思います。今後同様に試行工事の件数を多くして頂くように申し入れを行っていきます。



穴川橋の架替工事

学校施設

旧宮高跡地利用について

町長／早期に無償譲渡要望



舟倉武則議員

舟倉 水害前は宮之城中学校が移転することで協議され、今頃は中学生の声が響き渡っていると思うが、旧宮高跡地の譲渡の状況は

町長 宮中施設として活用を計画したが激特事業により、中学校移転を延



旧宮之城高校

期しました。来年4月頃を目途に譲渡されるものと思っています。移転の時期は旧宮高校舎の改修等の期間を考慮し22年9月の移転を目標とし検討しています。

激特事業完成後水害はないか

町長／外水氾濫から家屋浸水を解消

舟倉 激特事業の完成後は素晴らしい河川敷ができ、景観もよくなると思うが、三度、水害のない

町づくりを目指してどのように努力するのか。

町長 激特事業等のハード対策を促進するとともにハザードマップの作成、住民への情報の提供、伝達機能の向上、早期避難等のソフト対策の支援を国に要望し住民を守り水害のないまちづくりに努力します。

その他の質問

・かぐや姫グラウンドの整備について
・穴川橋の架替工事について